

第14回 Working Party 5A会合 報告書（案）

1 WP5A

WP5AはIMTを除く陸上移動業務、一部の固定業務（FWA：Fixed Wireless Access）、アマチュア業務、アマチュア衛星業務を扱っている。

1.1 会合の概要

第14回WP5A会合は、2014年10月27日から11月6日までの11日間、スイス国ジュネーブ市のITU本部において開催された。本会議には47カ国から197名が参加し、日本からは別紙のとおり21名が出席した。本会合には、99件の寄与文書（日本からの寄与文書8件）が入力された。議長はJose Costa(カナダ)が担当し、表1のとおりWorking Partyのもとに5つのWG(Working Group)、4つのDG(Drafting Group)及び4つのSWG(Sub Working Group)を設置し、検討が行われた。

結果として、改訂勧告案5件、新報告案2件及び研究課題の削除1件の文書が承認され、本年11月に開催される第9回SG5会合へ上程された。また、他グループへのリエゾン文書は、ITU-R内の他グループへ4件、ITU-Tへ1件、Joint Coordination Activity on Accessibility and Human Factors（JCA-AHF: ITU-T内や他の標準化機関等との調整を行うJoint Coordination Activity）へ1件送付した。

表1 WP5Aの審議体制

	担務内容	議長
WP5A		Jose Costa (カナダ)
WG1	Amateur services	Dale Hughes (オーストラリア)
WG2	Systems and standards	Lang Baozhen (中国)
DG 5A-2-1	Hearing Aids (M.1076)	Brian Copsey (ETSI)
DG 5A-2-2	Local coverage	吉野 仁 (日本)
WG3	PPDR	Amy Sanders (米国)
SWG 5A-3-1	PPDR Reports	Andy Gowans (英)
SWG 5A-3-2	PPDR Recs. M.2009 and M.2015	Stuart Shepard (豪)
WG4	Interference and sharing	Michael Kraemmer (ドイツ)
DG 5A-4-1	Revision Rec. M.1824	Christine Hsu (カナダ)
WG5	New technologies	吉野 仁 (日本)
SWG 5A-5-1	Cognitive Radio Systems(CRS)	Marja Matimmikko (フィンランド)
SWG 5A-5-2	Intelligent Transport Systems(ITS)	小山 敏 (日本)
DG 5A-5-3	Dynamic Access	Christine Di Lapi (米国)

2 主要結果

【WG1（アマチュア）】

- (1) WRC-15 議題 1.4 に関する新報告案 ITU-R M. [5MHZ COMPAT]を完成させた。
- (2) WP5A のウェブサイト掲載用の「アマチュア及びアマチュア衛星業務に関する ITU-R テキストの使用ガイド」を完成させた。

【WG2（システムと標準）】

- (1) 「聴覚障がい者のための無線通信システム」に関する改訂勧告案 M.1076 の改訂作業が完了し、SG5 へ上程されることになった。
- (2) 6GHz 以下における「広帯域移動システムの Local Coverage 展開の運用ガイドライン」に関する新報告案へ向けた作業文書 M.[Local Coverage]の更新作業が行われ、日本寄書が反映された。次会合において作業文書の最終化を図るため、Correspondence Group (CG)が設置され、今田諭志氏（日本/KDDI）が Convener を務めることになった。Local Coverage の勧告化を提案する日本寄書は、次回会合に持ち越された。

【WG3（PPDR）】

- (1) PPDR における BroadBand の要件を定義する為の報告のアップデートを実施。次回、2015 年 7 月の会合にて完成を目指す旨の合意を形成し、WP5D にリエゾンを送付し情報を共有。CG にて継続作業する。
- (2) 勧告 M.2009(PPDR の技術標準)、M.2015(PPDR の周波数配置)の改訂を実施。双方共に改訂を完了し、SG5 へ上程された。

【WG4（干渉と共用）】

- (1) 勧告 M.1824「MS のスタジオ外放送 TV、電子ニュース取材、スタジオ外制作のシステムの共用検討特性」の改訂案が SG5 会合へ上程された。
- (2) 新勧告案 M.[14.5-15.35 CHAR]「周波数 14.5-15.35GHz 帯 MS で運用するシステムの特性と保護基準」が SG5 へ上程された。
- (3) 5350-5470MHz 帯における既存業務(EESS、地上レーダー)との共用検討のために RLAN で使われている技術情報をまとめた文書の更新が行われ、議長報告添付された。
- (4) RLAN と既存業務との共用のための軽減技術に関する新報告案に向けた作業文書 M.[RLAN MITIGATION]が議長報告添付された。

【WG5（新技術）】

- (1) コグニティブ無線に関する新報告案 ITU-R M.[LMS.CRS2]は完成承認され、SG5 へ上程された。
- (2) 車車間通信及び路車間通信に関する新勧告案 ITU-R M.[V2X] 作業文書について日本と韓国、ETSI からの入力文書が反映され、引き続き検討が継続されることとなった。
- (3) 高度 ITS 無線通信システムの報告 ITU-R M.2228 改訂に関する検討は、韓国からの入力文書が反映されたのちに暫定改訂報告案に格上げされ次回継続審議されることとなった。
- (4) ITS 利用状況の調査レポートに関する新報告案 ITU-R M.[ITS USAGE]作業文書については、日本からの入力文書が反映され、引き続き検討が継続されることとなった。
- (5) 日本からの提案による列車との公衆移動通信システムに関する新報告 ITU-R M.[RAIL LINK]作業文書が出力され、引き続き検討が継続されることとなった。
- (6) WP1B で作成中のダイナミックアクセスに関する新報告案作業文書 SM.[DYNAMIC ACCESS]についての WP1B からのリエゾン文書にたいして、新報告案作業文書 SM.[DYNAMIC ACCESS]を精査し、WP5A のコメントをまとめてリエゾンを返答した。

3 各WG等における審議内容

3.1 WG 1 (アマチュア)

【入力文書】

5A/543 Annex 10 (WP5A)、5A/551 (WP1C)、5A/579 (ロシア)、5A/592 (カナダ)、5A/599 (中国)、5A/611 (米国)、5A/622, 623 (IARU)

【出力文書】

5A/TEMP/256R1, 5A/TEMP/260, 5A/TEMP/279, 5A/TEMP/280 (WG1 議長報告), 5A/TEMP/281 (WG1 作業計画)

【出席者】

Dale Hughes (議長、オーストラリア)、Brennan Price (米国)、Bryan Rawlings (カナダ)、Sergei Solokin, Yulia Averochkina (ロシア)、Hans Blondeel Timmerman (オランダ)、Ulrich Mueller (ドイツ)、Ole Garpestadt (IARU)、(英国)、(中国)、(韓国)、(アルジェリア)、山本(勝)(日本)等最大 13 名

【審議概要】

- ・WRC-15 議題1.4関連では、前回会合に引き続き新報告案ITU-R M. [5MHZ COMPAT]の審議を行った結果、新報告案として完成させ、WP5B/5C および3L宛の検討状況報告リエゾン文書を作成した。
- ・前回会合でのITU-R 勧告M.1740の停止を受けてWP5Aのウェブサイト掲載用の「アマチュア及びアマチュア衛星業務に関するITU-Rテキストの使用ガイド」を完成させた。

3.1.1 WRC-15議題1.4 (5 250-5 450kHzにおけるアマチュア業務への二次分配)に関する新報告案ITU-R M. [5MHZ COMPAT]の検討

【入力文書】

5A/543 Annex 10 (WP5A)、5A/579 (ロシア)、5A/592 (カナダ)、5A/599 (中国)、5A/611 (米国)、5A/622 (IARU)

【出力文書】

5A/TEMP/256R1

【審議概要】

- ・WRC-15 議題1.4関連では、前回会合に引き続き新報告案ITU-R M. [5MHZ COMPAT]の審議を行った結果、新報告案として完成させ、WP5B/5Cおよび3L宛の検討状況報告リエゾン文書を作成した。また、前回会合でのITU-R 勧告M.1740の停止を受けてWP5Aのウェブサイト掲載用の「アマチュア及びアマチュア衛星業務に関するITU-Rテキストの使用ガイド」を完成させた。
- ・各国寄与文書の結論が共用困難とするものと共用可能とするものに別れており、取りまとめは困難として各国の研究報告をAnnexとして添付し、各論併記の形でまとめられた。(5A/TEMP/256R1)
- ・カナダは各国の研究結果に対するコメントを記載しようとしたが、ロシアはこれに強く反対し、コメントは記載されなかった。
- ・出力文書5A/TEMP/256R1は、WP5Aの中間プレナリーでコメントなく承認された。

3.1.2 「アマチュア及びアマチュア衛星業務に関するITU-Rテキストの使用ガイド」に関する検討

【入力文書】

5A/623 (IARU)

【出力文書】

5A/TEMP/279

【審議概要】

- ・アマチュアおよびアマチュア衛星業務に関する無線通信規則の項目、ITU-R勧告および報告を一覧としてとりまとめたIARUからの入力文書を基礎に、関連ハンドブックの一覧を追加して承認した。(5A/TEMP/279)
- ・出力文書5A/TEMP/279は、WP5Aの最終プレナリーにおいてコメントなく承認された。

3.1.3 リエゾン文書の検討およびWG1作業計画の更新

【入力文書】

5A/551 (WP1C)

【出力文書】

5A/TEMP/260, 281

【審議概要】

- ・WRC-15議題1.4に関する研究の完了をWP5Bおよび5Cに報告するリエゾン文書を作成し、承認した。(5A/TEMP/260)
- ・5A/551は海洋レーダーのモールス符号による識別に関するWP1CからWP5Bへのリエゾン文書であり、WP5Aにはコピー送付であり特に対処は必要ないとしてノートした。
- ・WG1作業計画を更新し、承認した。(5A/TEMP/281)

3.2 WG2 (システムと標準)

【入力文書】

Broadband Wireless Access	538, 539 (WP5C), 568 (MEF), 626, 629 (WP5D)
Local Coverage aspects	543 Annex 12 (WP5A), 570 (CG on Rep. Local Coverage), 588 (米国), 613, 614 (日本)
Hearing aids and related	532R1 (JCA-AHF), 543 Annex 11 (WP 5A), 561R1 (WP5D), 565 (ITU-T SG16), 578 (EHIMA), 598 (中国)
Rec.M.1450	586 (Ukraine)
Out-of-band-emissions	552 (WP1A)

【出力文書】

Broadband Wireless Access	5A/TEMP/258 (WP5C へのリエゾン文書)
Local Coverage aspects	5A/TEMP/273R1 (Work Plan 文書、CG の ToR)
Hearing aids and related	5A/TEMP/274 (新報告案 M.[Local Coverage] 作業文書)
Rec.M.1450	5A/TEMP/257 (WP5A/WP5D から JCA-AHF への合同リエゾン文書)
Out-of-band-emissions	5A/TEMP/259 (改訂勧告案 M.1076)

【出席者】

Lang Baozhen (議長・中国)、Jose Costa (カナダ)、Dante Ibarra、Charles Glass、Amy Sanders (米国)、Gabrielle Owen (オランダ)、Xiano Li (中国)、Michael Krämer (ドイツ)、Jim Ragsdale (Ericsson)、Brian Copsey(ETSI)、Jayne Stancavage(Intel)、圓谷、今田、大原、大村、大槻、小川、榎木、村上、山本、吉野 (日本) などの計約 30 名

【審議概要】

- ・WG2は、「無線システムと標準」について審議するWGである。本WGは今会合中に3回開催され、18件の入力文書を審議し、6件の出力文書を作成した。
- ・Hearing aids (Update of Rec. ITU-R M.1076) 及びLocal Coverageについては、Drafting Group (DG) を設置し、Mr. Brian Copsey (ETSI)、吉野仁氏 (日本/ソフトバンクモバイル) が議長を務めた。その他については、WG2で直接審議した。
- ・WG2では、5A/ADM/28の入力文書割当てに沿い、主に以下の5項目について審議を行った。
 - ① Broadband Wireless Access
WP5Cからの暫定新報告案F.[FS USE-TRENDS]に関するリエゾンへの対応を審議し、リエゾン文書を送付することになった。
 - ② Local Coverage

運用ガイドラインに関する新報告案作業文書を審議し、新報告案M.[LOCAL COVERAGE]作業文書の完成度を高めるドラフティング作業を行い、議長報告に添付することとなった。

③ Hearing aids and related

聴覚障がい者のための無線通信システムの勧告(M.1076)の改訂勧告案M.1076の改訂作業が完了し、SG5へ上程されることになった。

④ Rec.M.1450

無線LAN機器の適合性評価試験の記載を提案するウクライナからの寄書を審議したが、提案への支持がないことが確認された。

⑤ Out-of-band-emission

WP1Aからのリエゾン文書を審議し、米国がリエゾン文書をドラフトし、WP1Aに送付した。

3.2.1 Broadband Wireless Access 関連の入力文書の審議

【入力文書】

538, 539 (WP5C), 568 (MEF), 626, 629 (WP5D)

【出力文書】

5A/TEMP/258

【審議概要】

- ・ 538 (WP 5C)は、WP5CからFWSの将来的な発展についてのガイダンスに関する新報告案 F.[FSUSE-TRENDS] (Fixed service use and future trends)に対し、FWAを所掌するWP5Aにコメントを求めるリエゾン文書である。前会合で新報告案が更新されたことから回答リエゾン文書の送付を見送った経緯がある。
- ・ プレナリーでの審議の結果、5A/TEMP/258により、特にコメントがない旨を通知するリエゾン文書WP5Cに送付することになった。ただし、WG2会合で審議した修正が行われていなかったため、一部修正を行うことが合意された。
- ・ 539 (WP 5C)は、WP5Cが作成中の報告案F.[FS.IMT/BB] (Use of fixed service for backhaul for IMT and other terrestrial mobile broadband systems) の更新が5月WP5C会合で更新されたため、その情報を提供しかつコメントを関連するグループに求めるリエゾン文書である。審議の結果、特にコメントはなく、リプライしないことが合意された。
- ・ 568(MEF)は、MEF(Metro Ethernet Forum)からマイクロ波バックホールに関してWP5Cに感謝し、移動バックホール導入合意を通知するリプライリエゾン文書である。背景として、ITU-T SG15は、ITU-T G.8011勧告でMEF Ethernet Servicesの利用を参照し、加えてMEFはWP5A議長報告のQoSを参照した経緯がある。審議の結果、情報として了知された。
- ・ 626 (WP5D)は、WP5Dから新興国の特別なニーズを考慮したAV over IMTの技術及び運用の特性についての暫定新報告案M.[IMT.AV] (Interactive unicast and multicast audio-visual capabilities and applications provided over terrestrial International Mobile Telecommunication (IMT) systems)の作成に関する情報提供のリエゾン文書である。審議の結果、情報として了知された。
- ・ 629 (WP5D)は、WP5Dから策定中のM.[FUTURE TECHNOLOGY TRENDS]及びM.[IMT-ANTENNA]に関して、WP5Cで作成中のF.[FS USE-TRENDS]に関係する情報が含まれていることを連絡するリエゾンのコピー文書である。審議の結果、情報として了知され、リプライは行わないことが合意された。

3.2.2 Local Coverage における運用指針に関する作業文書の審議

【入力文書】

543 Annex 12 (WP5A), 570 (CG on Rep. Local Coverage), 588 (米国), 613, 614 (日本)

【出力文書】

5A/TEMP/273R1 (Work Plan 文書、CG の ToR), 5A/TEMP/274 (新報告案 M.[Local Coverage] 作業文書)

【審議概要】

- 1) 543 Annex 12 (WP5A)は、前回会合で作成された新報告案の作業文書である。
- 2) 570 (CG on Re. Local Coverage)は、Correspondence Group (CG: Convener 今田諭志氏 (KDDI))において審議された作業文書 M.[Local Coverage]の報告文書である。
- 3) 588 (米国)は、CG からの入力文書 570 について、Local Coverage の用語の定義、Licensed 及び License-exempt における規制等制度に関しては研究の対象外であること、Local Coverage の技術要件の策定は行わず運用観点のニーズや要件の策定にフォーカスすること等の修正提案である。
- 4) 613(Japan)は、CG 活動により、更なる検討が必要な項目として編集上の注釈付記された箇所の解決や空白であった節の追記が行われた作業文書の更新を提案し、また SG5 会合への提出を WP5A 会合にて承認することを提案したものである。
- 5) 614(Japan)は、Local Coverage に関する新報告案の作成が進捗したことを踏まえ、6GHz 帯以下における広帯域無線アクセスシステムのローカルカバレッジの運用手法及び運用要件の新勧告案の作成に向けた研究を開始すること、新勧告案の作業文書の初版を提出すること、勧告案の検討のため CG を設立することの提案を行うものである。

- ・吉野仁氏（日本）を議長とするDGを設置し、CGからの入力文書（570）、日本寄書(613) および米国寄書(588)に基づき審議が行われ、暫定新報告案へ向け更新された作業文書 (5A/TEMP/274)につき、議長報告書に添付することで合意された。今会合にて合意の得られない箇所について、Editor's noteや[]が付けられる形で纏められた。
- ・「Definition」についてはオフラインで日本案をベースにドラフティングを行い、米国から Coverage areaの定義がITU-Rの定義と重複する点、3つのcaseが具体的過ぎる点等から反対の意見が述べられたが、エリクソン(カナダ)が支持し、独から修正提案があり、合意された。
- ・米国から提案があったLicensedとlicense-exemptにおける制度上での制約の緩和、及び Regulationは研究の対象外であることの再確認については、日本よりRegulatory issuesは本報告のスコープ外であるとの説明があり、合意された。
- ・審議された作業文書(5A/TEMP/274)のステータスにつき、日本から暫定新報告案（PDN Rep.）とするよう提案があり、エリクソン（カナダ）の支持があったが、米国は未解決の課題が多数残っていることから、時期尚早であると反対し、作業文書のままの扱いとなった。
- ・Work plan及びCGのToR(5A/TEMP/273R1)が作成され議長報告書に添付することで合意された。Work planでは、次回WP5A会合において、暫定新報告案に向け作業文書を最終化しSG5への送付を検討すること、勧告作成の必要性を判断することの2点が合意された。CGについては、Convenerには前回同様に今田諭志氏(日本)が就任し、活動期限は2015年5月4日迄となった。
- ・新勧告案に関する日本寄書（613）については、中身の審議は行われず、次回会合に持ち越すこととなった。

3.2.3 Hearing aids and related(聴覚障がい者のためのワイヤレスシステムの勧告 M.1076 の改訂)について

【入力文書】

543 Annex 11 (WP 5A), 561R1 (WP5D), 565 (ITU-T SG16), 578 (EHIMA), 598 (中国)

【出力文書】

5A/TEMP/257 (WP5A/WP5D から JCA-AHF への合同リエゾン文書) ,

5A/TEMP/259 (改訂勧告案 M.1076)

【審議概要】

- ・421 Annex 1 (WP 5A)は、前回会合で作成された改訂勧告案M.1076である。
- ・598 (中国)は、421 Annex 1 (WP 5A)に対して、中国内で利用されている聴覚補助装置で用いられている周波数帯を追加することを提案している。
- ・改訂勧告案M.1076について、DGが設置され議長をCopsey氏(ETSI)が務めた。DGでは、改

訂勧告案のドラフティンが行われ、入力文書598に基づき、中国からの提案が反映され、改訂作業が完了した。

- ・改訂勧告案M.1076 (5A/TEMP/259) の審議において、次のコメントがあり一部修正のうえ、SG5に上程することが合意された。
 - 1) 米国から、Annex 2 Section 2.1は Not implementation in all regionsとあるが追加する必要があるのか、との質問に対して、Copsey氏より修正履歴では追加しているように見えるが、現在の勧告に記載されているものであることから、そのまま残していることが説明された。そのまま残すことで合意した。
 - 2) 米国から、Noting b)には修正履歴で修正されているが、現在の勧告にはないことが指摘された。修正履歴を適切にすることで合意した。
 - 3) SG5議長橋本氏から、本勧告の改訂はITU-Tからのリエゾン文書に基づいて改訂を実施したものであることから、ITU-Tにも通知すべきであることが指摘された。現勧告で通知するよう記載されているIECに加えてITU-T JCA-AHF(Joint Coordination Activity on Accessibility and Human Factors)にも通知するよう文書を修正することで合意した。
- ・531R1 (JCH)は、ETSIのCospy氏から、561R1と同様にnational matterであり、informationであるとの説明があり、了知された。
- ・561R1 (WP5D)は、WP5A議長から、WP5A及びWP5Dに対して検討要請があった2.3-2.4GHz帯の周波数利用の要件及び免許条件については、各国の規制事項である旨をJCA-AHFに回答するWP5A及びWP5Dの合同リエゾン文書である。審議において、WP5A議長から、本文書は次の565(ITU-T SG16)で扱うが、内容的にはnational matterであり、WP5Aの所掌としては特に審議事項はないとの説明があり、了知された。
- ・565 (ITU-T SG16)は、ITU-T SG16(Question 26/16)から新勧告案F.ACC-TERM (Accessibility Terms and Definitions)に関する情報提供のリエゾン文書であり、今後の会合日程等の情報が提供されている。
- ・審議において、WP5Dとの合同リエゾン文書である5A/TEMP/257が作成され、2.3-2.4GHz帯の規制、免許条件等はWP5A及びWP5Dの所掌外であり、各国が実施していることをJCA-AHFに送付することが合意された。
- ・578 (EHIMA)は、EHIMA(European Hearing Instrument Manufactures Association)から、Question ITU-R 254/5(Operation of short-range Radiocommunication public access system supporting hearing aid system)については作業中であり、2015年までに完成させるとの情報提供のリエゾン文書である。
- ・審議において、ETSIのCospy氏から、新課題525/5への参加の呼び掛けであるとの説明があり、了知された。

3.2.4 Rec.M.1450 (広帯域 RLAN の特性)について

【入力文書】

586 (Ukraine)

【出力文書】

なし

【審議概要】

- ・586 (Ukraine)は、2013年11月に採択された勧告ITU-R M.1450-4に対して、新Annexとして、次回改訂の勧告改訂案ITU-R M.1450-5に「勧告ITU-R M.1450の技術要件によるRLAN機器の適合性評価試験」を追加する提案文書である。提案されたAnnexの要点は下記の通り。
 - 1) 認証の対象とするRLANデバイス(802.11a, 11b, 11g, 11n, 11ac, ETSI EN 301 893, ETSI EN 300 328等)
 - 2) 一般試験条件と極端な試験条件(温度範囲、湿度範囲、電圧条件等)
 - 3) 試験RFパラメータ(送信出力、スペクトラムマスク、不要輻射レベル、専有帯域幅、EIRP、周波数帯等)
 - 4) 適合性試験に必要な製品情報(2.4GHz帯、5GHz帯)
 - 5) 2.4GHz帯適合性試験測定項目(EIRP、スペクトラム電力密度、周波数範囲、送信機のスプリアス等)

- 6) 5GHz帯適合性試験測定項目(中心周波数、専有帯域幅、RF出力、スペクトラム電力密度、送信機の不要輻射レベル(5GHz帯域内と帯域外)等)
- ・本件は、開会プレナリーにおいてSG5議長橋本氏から、RAG第21回会合の結果報告(5A/569)において、決議62(Studies related to testing for conformance test with Recommendations and interoperability of radiocommunication equipment and systems)に基づき、ウクライナからのWP5Aへの入力について検討することを要請されているとの紹介があった。
 - ・ウクライナから、M.1450にRLAN機器の適合性評価試験に関するAnnexを追加する提案に対し、米国、カナダ、フランス、英国等から、装置試験の手続きは各地域等で既に行われており、コンフリクトが起きる可能性があること、手続きの情報はハイパーリンクで詳細を利用できるとの不支持の発言があった。WG2議長が、提案への支持がないことを確認し、ウクライナがこれを受け入れた。(ウクライナからの出席者は1名で確認したところ、主管庁の人ではなく産業界の人であると述べていた。)

3.2.5 Out-of-band- emission (不要輻射)について

【入力文書】

552 (WP1A)

【出力文書】

5A/TEMP/272 (WP1A へのリエゾン文書)

【審議概要】

- ・552 (WP1A)は、勧告ITU-R SM.1541とSM.329では、狭帯域アナログ変調技術をベースにした帯域外不要輻射とスプリアス領域不要輻射は中心周波数から必要な帯域の250%の値で定義されているが、最近の無線通信システム及び放送システムのデジタル化・広帯域化の傾向を踏まえて、WP1Aでは報告案ITU-R SM. [CHAR-UNWANTED] に向けた作業文書「広帯域通信システムで使用されるデジタル変調技術のための帯域外及びスプリアス領域不要輻射の特性」(Characteristics of the unwanted emissions in the out-of-band and spurious domains for digital modulation technology used in broadband communication systems)を作成している情報と、この報告に対するコメントを求めるリエゾン文書である。
- ・5A/TEMP/272について、WP5Aが関連する勧告(M.1450、M.1801)や報告(M.2116)等の情報を提供するリエゾンをWP1Aに送付することが合意された。

3.3 WG3 (PPDR)

【入力文書】

PPDR General	550 (ITU-T SG 2 FG-DR&NRR), 560 (WP 5D), 575 (APT), 606 (UAE)
Draft new Rep. ITU-R M.[PPDR] & Supp. of M.2033	543 Annex 15 (WP 5A), 572 (CG on Rep. M.[PPDR]), 581 (Australia), 585 (Motorola Solutions), 589 (Canada), 597, 600 (China), 604 (Korea)
Update of Rec. ITU-R M.2009	543 Annex 13 (WP 5A), 590 (Canada), 596 (China), 627 (WP 5D)
Update of Rec. ITU-R M.2015	543 Annex 14 (WP 5A), 574 (Israel), 591 (Canada), 601 (China), 605 (Motorola Solutions), 610 (Vietnam)

【出力文書】

ITU-R. M.[PPDR]	5A/TEMP/278R1(暫定新報告案 M.[PPDR]作業文書) 5A/TEMP/276R1(WP5D 宛リエゾン)
Update of Rec. ITU-R M.2009 & M.2015	5A/TEMP/268R1 (PPDR 無線インターフェース勧告 M.2009 改訂案) 5A/TEMP/271R1(PPDR 周波数配置勧告 M.2015 改訂案)
議長報告	5A/TEMP/286

【出席者】

SANDERS Amy (米・議長)、COSTA Jose、HSU Christine (カナダ)、IBARRA Dante、GLASS Charles(米)、BHARAT Bhatia(インドモトローラ)、GOWANS Andy (英)、BUCKWITZ Karsten

(独)、SHEPARD Stuart (豪)、WALLACE Stewart (豪 Telstra)、Khoo Teng Lock (モトローソリューションズ)、KATZ Yoav (モトローイスラエル)、ABD EL-GHANY Mohamed (エジプト)、PARK Jae Ha (韓国)、ZHENSU Song (中国)、DEVERALL Bill (NZL)、圓谷、山崎、酒井原、小川、大村 (日本) などの約計 40 名

【審議概要】

- ・WG3は、PPDR(Public Protection and Disaster Relief)について審議するWGであり、今会合中に3回開催され、20件の入力文書および3件の前回会合からの議長添付文書を審議した。2件の勧告改定作業を完了しSG5へ送付、報告ITU-R M.[PPDR] 等2件の文書は次回会合に持ち越し、1件のリエゾン文書の作成などを行った。
- ・WG3では、5A/ADM/25-Eでの入力文書割当てに沿って以下の3つの項目について審議をおこなった。
 - ① Draft new Rep. ITU-R M.[PPDR] & Supp. of M.2033 :
Narrow Band/Wide Band/Broad Band PPDRの要件の新報告の作成
 - ② Update of Rec. ITU-R M.2009 : PPDRの技術標準の勧告の改訂
 - ③ Update of Rec. ITU-R M.2015 : PPDRの周波数配置の勧告の改訂
- ・①、②、③についてはそれぞれ対応する以下の2つのSub Working Groupが設置され詳細を審議した。
- ・SWG 5A3-1 PPDR Reports : Andy Gowans氏(英)
- ・SWG 5A3-2 PPDR Recs. M.2009 and M.2015 : Stuart Shepard氏(豪)

3.3.1 PPDRの要件の新報告の作成に関する検討

【入力文書】

543 Annex 15 (WP 5A), 572 (CG on Rep. M.[PPDR]), 581 (Australia), 585 (Motorola Solutions), 589 (Canada), 597, 600 (China), 604 (Korea)

【出力文書】

5A/TEMP/278R1 (暫定新報告案 M.[PPDR]作業文書), 5A/TEMP/276R1 (WP5D 宛リエゾン)

【審議概要】

- ・Sub Working Groupが10回開催された。
- ・今回、各入力をマージした100p超の作業文書について主要部分を中心に、二回見直す形で全て審議した。議論の殆どは、議決646との整合性、重複・冗長性の抑圧であった。大きな、削除・修正については後述の通り。
- ・Section6 Spectrum considerations for PPDRは、この内容がどこまで(Narrow/Wide/Broad)を含むのかで紛糾。AI 1.3の主目的がBroadBandの要求事項であり、ここは一番重要との認識で、Narrowも含めて一つのセクションにとのWG3議長からの提案があり、これにATISが賛同し、章の移動修正が行われた。
- ・Section 10.2 Deploymentは中国から提案された文言であったが、内容が発展途上国の事を示しているわけではなく一般的な議論であるとして、特にWG議長から懸念が示され、カナダ、モトローラが賛同。(発展途上国の例として、中国の例を引用しているが、中国は発展途上国とは思えないので例としてふさわしくないのではとの意見もアメリカより出された)。結果として、中国が提案したAnnex6Gの一部のみを残しほぼ全体を削除し、10.1.7の後半を移動して、エディトリアルな内容を修正した。
- ・ANNEX2のDefinitionについてWG3議長から、BroadBand始め、これらの文言は何も「定義」をしてはいなく、また、ITU-Dでも長年の検討をしているが、定義について合意をとることは実質困難であるとの指摘があり、ドイツ・ニュージーランド・SWG議長との議論の結果、Terminology used for PPDRに変更が行われた。
- ・ANNEX 5 向けに入力された韓国文書は、User Requirementではなく Operational Requirementであるとして、内容に差異があるとATISからのコメントがあり、ドイツ・オーストラリア・アメリカ・カナダ含めた議論があったが、収束せず、保留。モトローラが入力した変更は特に大過なく承認はされたが、類似な項目との重複の懸念がATISから示されて、検討のためのEditor's noteが付記された。
- ・Abbreviations and acronymsに関しては、本文に使われてない文言も含めて記載されている

が、略語の説明がない文言については、次回まで無ければ削除するとしてEditor's noteを付記した。

- ・最終的に作成したクリーンアップ版においては、Editor's noteをYellowにて、Discussionが必要な部分をgreenで、削除予定をredにてハイライトしたものを作成。
- ・最終的な期日の目標として、2015年7月会合に完了を目指す旨の確認がされた。
- ・上記、目標期日と最新改定案及び、後述の勧告M.2009の改訂結果の共有の為に、WP5Dにリエゾンを送付することとした。

3.3.2 PPDRの無線インターフェース標準に関する勧告M.2009の改訂に関する検討

【入力文書】

543 Annex 13 (WP 5A), 590 (Canada), 596 (China), 627 (WP 5D)

【出力文書】

5A/TEMP/268R1(PPDR 無線インターフェース勧告 M.2009 改訂案)

【審議概要】

- ・Sub Working Groupが3回開催された。
- ・5A/590(Canada)で、Recognizing a)における、決議646の調和周波数リストの参照を削除（現在のWRC-15議題1.3対応作業-決議646改訂-で変更される可能性がある事が理由）を改めて提案。イスラエル、モトローラ、韓国はコピーの記載があったほうが分かりやすいとの理由で残すべきとしたが、エリクソン、日本、カナダ、オーストラリアの技術標準の勧告であるとする主張が主流であるとして、ドイツの文案を元に改訂され、削除された。
- ・596(China)から提案されているB-TurnC関連の記載において、「LTE-Based」の表現が、前回から継続して課題とされ、今回もモトローラ、アメリカ、エリクソンが中心に、これに反対し、「LTE-Based」の記載を全て削除することで合意された。
- ・他、627(WP 5D)の改定内容の波及とエディトリアルな修正を加えて、完成とした。

3.3.3 PPDRの周波数配置に関する勧告M.2015の改訂に関する検討

【入力文書】

543 Annex 14 (WP 5A), 574 (Israel), 591 (Canada), 601 (China), 605 (Motorola Solutions), 610 (Vietnam)

【出力文書】

5A/TEMP/271R1(PPDR 周波数配置勧告 M.2015 改訂案)

【審議概要】

- ・Sub Working Groupが3回開催された。
- ・UAE提案の新規周波数の提案について議論が紛糾。特に、この周波数が現用されているものではなく、これから使用する予定という周波数であり、ブロードバンド用とで将来使われるという、記載を強行に主張するイスラエルに対して、カナダ、アメリカ、ドイツ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、日本ほか、殆どの国が、議決646に無い周波数の追記について、反対の意向を示すとともにCPM Textでも議論していない内容であり、日本からはWRC-15以降の改定を提案した。一旦、UAE持ち帰り検討としたが、次のSWGの冒頭で、WG3議長が、WRC-15以降の継続的な改定を議長報告に付記するとの妥協案を示した。しかしながら、イスラエルは、周波数構成案のANNEX Yの削除には合意したが、周波数の記載には強行に主張し、一旦、Foot Noteに、議決646のフットノートとは分離して記載することで合意。更にClosing Plenaryでも、分離した独自の表現と記載を強く主張した。意向を汲む形で、Foot Noteを修正し、承認された。
- ・削除されたANNEX YはWP5A議長報告のANNEX7に、「Elements for consideration in future discussions on Recommendation ITU-R M.2015」として添付され、持ち越された。
- ・Foot Noteの議論の最中、中国から、自国の周波数を601から引用記載したいとの提案がされ、記載が追加された。
- ・その他、ベトナム、モトローラ、中国の入力については、波及された。
- ・文中の記載にあった、M.PPDRの記載は、完成していない文書を引用して完成することは出

来ないとして、M.2033の記載が維持された。

- ・カナダから提案のあった、Working Documentから勧告改定案（DN Rec.）へのスキップは、5Aレベルでの合意があれば可能として、削除予定部分を[]にて記載し、プレナリーで削除の合意を取るものとして、完成された。

3.3.4 議題1.3関連で審議すべき勧告・報告の状況確認

【入力文書】

Attachment 1 of Document 5A/543 Annex 3(WP5A)

【出力文書】

議長報告への Attachment 1

【審議概要】

- ・今回、審議は行わないが、次回の会合にて、SG5でのアクション整理に従って検討を行う旨を確認。

3.3.5 その他

Vocabularyについては、入力はないが今後も審議を継続することを確認した。

3.4 WG4 (干渉と共用)

【入力文書】

(1) 共用検討(一般)	5A/547 (WP 5B), 5A/554, 5A/555, 5A/556 (WP 1A), 5A/577 (CG-Handbook), 5A/582, 5A/584 (WP 7B)
(2) ダイナミックアクセス(共用)	5A/534 (WP 5C), 5A/544 (WP 5B), 5A/553 (WP 1B), 5A/587 (USA)
(3) 報告M.1824の更新	5A/543 Annex 17 (WP 5A), 5A/593 (Canada), 5A/617 (Japan)
(4) ITU-T Interference	5A/545 (WP 5B), 5A/548, 5A/549 (ITU-T SG 9), 5A/557, 5A/558, 5A/559 (WP 1A), 5A/567 (ITU-T WP 2/5), 5A/573, 5A/576 (ITU-T SG 9)
(5) WRC-15議題1.1(Res.233)	5A/543 Annex 18 (WP 5A), 5A/546 (WP 5B), 5A/595 (Canada), 5A/609 (France), 5A/612 (USA), 5A/621 (ESA)
(6) WRC-15議題1.6 (FSS Res.151, 152)	5A/543 Annex 16 (WP 5A), 5A/571 (WP 4A), 5A/624 (USA)
(7) WRC-15議題1.9.1, 1.9.2 (FSS Res.758)	5A/535, 5A/536 (WP 5C), 5A/563 (WP 4C)
(8) WRC-15議題1.10 (MSS Res. 234)	5A/537 (WP 5C), 5A/564 (WP 4C)
(9) WRC-15議題9.1.x (MSS Res.205)	5A/583 (WP 7B)

【出力文書】

5A/TEMP/254R1 (新勧告案 M.[MS 14.5-15.35 CHAR])

5A/TEMP/255R1 (勧告改訂案 M.1824)

5A/TEMP/261 (新報告案に向けた作業文書 M.[RLAN MITIGATION])

5A/TEMP/262 (共用検討のための RLAN 技術情報をまとめた文書)

5A/TEMP/263R1 (報告案 SM.[DYNAMIC.ACCESS]に関する WP1B へのリエゾン文書のためのエレメント)

【出席者】

Michael Kraemer(ドイツ)、Christine Hsu、Jose Costa (カナダ)、Dante Ibarra、Charles Glass、Amy Sanders、Brandy Sykes、Jayne Stancavage、Christine Di Lapi (USA)、Baozhen Lang (中国)、Olivier Pellay (フランス)、Andy Gowans (英国)、Evgeny Tonkikh (ロシア)、Jim Ragsdale(Ericsson)、Philippe Tristant (ESA)、圓谷、久代、神原、大村、大槻、小川(日本)などの他、約 50 名

【審議概要】

勧告M.1824の改訂については、日本提案を反映して勧告改訂案の更新を行いSG5に送付した。さらに、RLANとの共用のための軽減技術に関しては、新報告案に向けた作業文書とコンパイル文書の更新、案周波数14.5-15.35GHz帯MSで運用するシステムに関する新勧告案の更新などを行った。

3.4.1 共用検討(一般)に関する検討

【入力文書】

5A/547 (WP 5B), 5A/554, 5A/555, 5A/556 (WP 1A), 5A/577 (CG-Handbook), 5A/582, 5A/584 (WP 7B)

【出力文書】

なし

【審議概要】

全ての入力文書はノートされた。

3.4.2 ダイナミックアクセス(共用)に関する検討

【入力文書】

5A/534 (WP 5C), 5A/544 (WP 5B), 5A/553 (WP 1B), 5A/587 (USA)

【出力文書】

5A/TEMP/263R1

【審議概要】

- ・ WP1Bへのリエゾン文書に対してWG4では、共用・規則等に関するエレメントについて審議し、WG5へその結果を周知することになった。
- ・ USからの入力されたリエゾン文書案をベースに審議を行ったが、USよりsafety aspectでは、DSAを利用できないという記述について、共用検討未了の状況では、根拠が薄いため議論が必要である点、さらにカナダから、この報告はSpectrum management の条項のみとして共用可否には踏み込むべきではないとの指摘があった。またWG5のDG議長は決議58に従うと、規則条項は含めるべきではないこと、DSAの定義を議論している現段階で、各業務への適用可否を議論するのは時期尚早であること、さらに地上移動業務に適用可能という記載にも懸念があること等の考えであった。Samsungから、報告案の4.1節は、規則/技術的に適用が可能／不可能なケースが混じって記載されていることが問題との指摘があった。議長からは、技術面に焦点を当てるのがよく、4.1節自体がWP1Bの所掌ではなくなり、適用可否の記載ができなくなるとの考えが示された。USからは、WP1Bへのリエゾンには、技術面に焦点を当てることを提案する一方、WP1Bが規則面（適用可否）に踏み込んだ記載を行う場合も想定して、それぞれの業務の適用可否についてのコメントも付記する2段階の記載がよいとの提案もあった。
- ・ 議長が上記議論を踏まえた文書を作成して再審議を行ったが、カナダからWP5Aのこの報告に対するポジションを明確にする文書、さらにこの報告の4.1節の内容が時期尚早であることを明記するための文書の提案があり合意された。また、WP1B側が4.1節を維持する場合に対するWP5Aの特定コメントへのフランス提案に対して、USから生命の安全に関わる無線通信業務と直接生命の安全に関わらない無線航行業務等についてそれぞれコメントを記載すべきとの意見が出され、合意された。
- ・ 以上の審議結果により、5A/TEMP/263R1が作成されWG5に送付され、WG5で準備しているリエゾン文書案に組み込まれた。

3.4.3 勧告M.1824の改訂に関する検討

【入力文書】

5A/543 Annex17 (WP5A), 5A/593 (カナダ), 5A/617 (日本)

【出力文書】

5A/TEMP/255R1

【審議概要】

- ・ 前回議長報告として今会合にフォワードされており、今会合では日本とカナダから入力があった。
- ・ 日本提案は、「consideringへENGの要求条件2項目を追加(h)ENGには低遅延と高QoSが求められる、i)ENGには災害時にも信頼性の高いHD映像の伝送が求められる)」、「Annex1への自国のENGアプリケーションの周波数移行に伴う1.2、2.3GHz帯システムのパラメータ追加」、「Annex2の日本テレビの中継に関するテレストラ社のWEB記事の記載削除」、「参照文献としてAnnex 2の脚注に報告ITU-R BT.2299 “Broadcasting for public warning, disaster mitigation and relief” の記載を追加」という内容。カナダ提案は今会合でのSG5送付を提案する内容。
- ・ 日本は、前回会合までにAnnex2の追加を提案していたカナダとオフラインのドラフティングを行い、日本提案の内容を全て含めることで合意した。ITU-R BT.2299は、noting b)へ記載することとなった。
- ・ 勧告に私企業のURLが記載されていることに関し、日本は、情報の継続的な維持で懸念を示し、文書から私企業のURLを削除することで合意した。他、一部の用語などについて日本、

アメリカ、カナダ、エリクソンなどにより、エディトリアル修正を行った。

- ・さらに日本は、Annex2第2章に、共用検討のためのIMTのパラエータの参照先として3つの報告が記載されているが、内容が広範囲で共用検討の勧告として内容が不明瞭になる点を指摘した。報告ITU-R M.2116のみを記載し、合わせて報告の要約を記載することで合意した。報告 ITU-R M.2116には他の2つの報告への参照が含まれている。
- ・以上の修正により、5A/TEMP/255R1が勧告改訂案としてSG5への送付が合意された。

3.4.4 ITU-T Interferenceに関する検討

【入力文書】

5A/545 (WP 5B), 5A/548, 5A/549 (ITU-T SG 9), 5A/557, 5A/558, 5A/559 (WP 1A), 5A/567 (ITU-T WP 2/5), 5A/573, 5A/576 (ITU-T SG 9)

【出力文書】

なし

【審議概要】

全ての入力文書はノートされたが、WP1Aからのリエゾン文書に対してUSから、各主管庁のこれまでの経験を踏まえて、WP5Aからではなく各主管庁からリエゾンを出すことができるとの発言があったが、議長からはWP1Aからの回答に応じて必要であればリエゾンを出すこともあるとの補足説明もあった。

3.4.5 WRC-15議題1.1に関する検討

【入力文書】

5A/543 Annex 18 (WP 5A), 5A/546 (WP 5B), 5A/595 (Canada), 5A/609 (France), 5A/612 (USA), 5A/621 (ESA)

【出力文書】

5A/TEMP/261, 5A/TEMP/262

【審議概要】

- ・カナダからの提案文書を、コンパイル文書（既存業務とRLANとの共用を可能にするための軽減技術をリストアップした文書で議長報告添付文書として今会合に持ち越されている）に埋め込むことの議論があったが、USから今回の作業は特定の軽減技術にフォーカスした議論を行うべきとの意見が出された。さらに第2節の最後にある2つのパラグラフをコンパイル文書に挿入したいとの提案に対しても、USから反対意見が出されたが、議長が編集することになった。
- ・フランスからの提案に対して、USから前回と同様に統計的解析手法には疑問があること、UKからもモデリングに問題があるとの指摘があった。ここで議長からコンパイル文書を継続審議対象とするか、さらに勧告M.1652の改訂は今後どうするかとの問いかけがあったが、フランスからは今回の文書でコンパイル文書を更新していきとの意向が表明された。USからは勧告M.1652の更新は時期尚早であること、またこの勧告はRRにも参照されているために改訂等は容易でないこと、さらにコンパイル文書には適合性評価用試験等の項目は含めるべきではないとの意見が出されたが、議長が編集することになった。
- ・なお、議長からは、今回の文書をコンパイル文書の更新に用いること、コンパイル文書は報告作成のための作業文書でないことも確認された。
- ・USからコンパイル文書に変わるものとしての報告案作成に向けた作業文書の提案であったが、これまで議論してきた重要なエレメントがカバーされていないためにESAからは反対の意見が出された。ここで議長から、US提案内容をコンパイル文書に組み込むか、新報告の作業文書としてスタートさせるか、その場合どのエレメントをコンパイル文書から入れ込むか、3つの疑問が挙げられたが、ESAからは新報告とする場合には特定周波数(5350-5470 MHz)に対するのではなく周波数に対しては一般的にすべきとの意見も出され、カナダ、UKの賛成もあったが、USは特定周波数帯を固持していた。そのため、議長から再度本文書のスコープの見直し依頼と、コンパイル文書から抽出する技術項目の問いかけと、コンパイル文書そのものの作業中止の問い合わせがあった。USからはコンパイル文書の内容は十分に検討された内容ではないので否定的な意見が出された。カナダからはコンパイル文書を維持

すべきであること、UKからはチャネルライゼーションを作業文書に入れるべきとの意見が出された。ESAからはUS提案の各技術の評価が不十分であるために、コンパイル文書を活用するためにはこれらの文書間のリンクが提案され、さらにコンパイル文書のAttachment 5のアンテナ項目については共用のための緩和技術でないことが明確になったために削除の提案もあった。以上の議論を踏まえて、US提案の新報告作業文書のスコープの見直し、コンパイル文書と作業文書との関係を明確にするために作業文書内に編集ノートを作成すること、コンパイル文書への今回の寄書内容の反映、の3点について行うことが提案され、議長が提案者との調整を行い、コンパイル文書と新報告作業文書を編集することになり、新報告案に向けた作業文書が5A/TEMP/261として、コンパイル文書の改訂案が5A/TEMP/262としてまとめられた。

3.4.6 WRC-15議題1.6に関する検討

【入力文書】

5A/543 Annex 16 (WP 5A), 5A/571 (WP 4A), 5A/624 (USA)

【出力文書】

5A/TEMP/254R1

【審議概要】

- ・WP4Aからのリエゾン文書はノートされ、USからの新勧告案の更新版は5A/TEMP/254R1としてプレナリーに提出され、SG5議長からこれまでの審議経験からrecommends 1にshouldを追加することの提案が行われ合意後SG5への送付が承認された。

3.4.7 WRC-15議題1.9.1, 19.2, 1.10, 9.1.xに関する検討

【入力文書】

5A/535, 5A/536 (WP 5C), 5A/537 (WP 5C), 5A/563 (WP 4C), 5A/564 (WP 4C), 5A/583 (WP 7B)

【出力文書】

なし

【審議概要】

- ・全ての入力文書はノートされた。

3.5 WG5（新技術）

【入力文書】

5A/198 (Annex 20) (WP5A), 5A/ 543 (Annex 19, Annex 20, Annex 21) (WP5A), 5A/544 (WP5B), 5A/553 (WP1B), 5A/562 (ETSI), 5A/587 (米国), 5A/602 (韓国), 5A/603 (韓国), 5A/607 (Nokia Solutions and Networks Oy), 5A/615 (日本), 5A/618 (日本), 5A/619 (日本), 5A/620 (日本), 5A/625 (Orange, Telecom Italia)

【出力文書】

5A/TEMP/264 (新報告案作業文書 M.[RAIL.LINK]), 5A/TEMP/265 (新勧告案作業文書 ITU-R M.[V2X]), 5A/TEMP/266R1 (新勧告改定案作業文書 ITU-R M.2228), 5A/TEMP/267R1 (新報告案 ITU-R M.[ITS USAGE]), 5A/TEMP/269R1 (WP1B へのリエゾン), 5A/TEMP/270R1 (新報告案 ITU-R M.[LMS.CRS2]), 5A/TEMP/285 (WG5A5 議長報告)

【出席者】

Bill McDonald, Dale Hughes (オーストラリア)、Hartmut Dunger, Bernd Wolf (ドイツ)、Marja Matinmikko (フィンランド)、Halina Uryga (フランス)、Alessandro Trogole (イタリア)、Han-Byoung Cho (韓国)、Dante Ibara, Amy L. Sanders, Jayne Stancavage, Ed Ehrlich, Shawn taylorm, Andy Feltman (米国)、 Jim Ragsdale (Ericsson), Alexander Gerdenitsch (Motorola Mobility), Fatih Yurdal (Robert BOSCH GmbH)、圓谷、小山、中川、山本、高山、辻、大村、大原、小川、檜木、新保、村上、山崎、吉野 (日本) など約 50 名

【審議概要】

WG5は、コグニティブ無線システム(CRS: Cognitive Radio Systems)、ソフトウェア無線(SDR: Software Defined Radio)などの新技術、ITS(Intelligent Transport Systems)、センサーネットワークアクセスシステム(WASN: Wireless Access Sensor Network)などの新システムについて審議するWGである。本WGは、今会合中、2回開催され、16件の入力寄与文書を審議し、7件の出力文書を作成した。WG5は、今会合中、下記に示す3項目について2つのSWG(Sub-Working Group)およびDG (Drafting Group)を設立し審議を行った。

SWG (担当議長)	検討事項
SWG5A-5-1 コグニティブ無線(CRS)に関する検討 (Marja Matinmikko, フィンランド)	- 新報告案 M.[LMS.CRS2] (陸上移動通信のコグニティブ無線システム)作業文書の作成と最終化
SWG5A-5-2 ITSに関する検討 (小山 敏, 日本)	- 車車・路車間通信に関する新勧告案 M.[V2X]の作成 - 高度 ITS 通信システムに関する報告 M.2228 改訂案作業文書の作成 - ITS 利用状況の調査報告案 ITU-R M.[ITS USAGE]の作業文書の作成 - 列車と公衆移動通信システムに関する報告案 ITU-R M.[RAIL LINK]の作業文書の作成
DG5A-5-3 Dynamic Access WP1B へのリエゾン (Christine Di Lapi 米国)	- WP1B へのリエゾン(WP1B で作成中の新報告案作業文書 ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS]へのコメント)の作成とりまとめ - 新報告案作業文書 ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS]の技術的精査とコメント作成 - 新報告案作業文書 ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS]の規制事項についての WG4 での精査結果を WP1B へのリエゾンへの反映させること

SWG5A-5-1(CRS)、5A-5-2(ITS)およびDG5A-5-3は、今会合中に、それぞれ6回、2回および4回開催された。

3.5.1 コグニティブ無線システム(CRS)に関する検討

【入力文書】

5A/543 (Annex 21) (WP 5A), 607 (Nokia Solutions and Networks Oy), 618 (日本), 625 (Orange, Telecom Italia)

【出力文書】

5A/TEMP/270R1 (報告案 ITU-R M.[LMS.CRS2])

【出席者】

Bill McDonald (オーストラリア), Jose Costa (カナダ), Alessandro Trogolo (イタリア), Marja Matinmikko (フィンランド), Halina Uryga (フランス), Amy L. Sanders (米国), Dante Ibarra (米国), Jayne Stancavage (米国), Ed Ehrlich (米国), Shawn Taylor (米国), Jim Ragsdale (Ericsson), Bernd Wolf (ドイツ)、Blue (Microsoft)、圓谷、櫻木、新保、村上、吉野、山崎、小山、中川、山本、高山、辻、大村、大原、小川 (日本)など約計 30 名

【審議概要】

- ・我が国が入力した第7.1章High level characteristicsに関する提案は特段の意見なく報告書案ITU-R M.[LMS.CRS2]に反映することで合意された。
- ・また、我が国が提案する第8.1章へのmetricに関するテキストは、修正ののち報告書案ITU-R M.[LMS.CRS2]に反映された。
- ・エディトリアル修正を経て、報告書案ITU-R M.[LMS.CRS2]は最終化され、WP5Aプレナリーを経て、SG5へ上程された。
- ・報告書案ITU-R M.[LMS.CRS2]に含まれる用語(例えば、horizontal sharing, vertical sharing など)でCCVへ報告する必要があると思われるものを抽出することが検討された。しかしながら、イタリア、フランス、米国より、次回WP5A会合で各国からの入力寄書をベースに議論すべきとの意見が出され、今回、CCVへのリエゾンに含めることは見送られた。次回WP5A会合に向けて、本件に関する寄書入力を要請することとなった。
- ・報告書案ITU-R M.[LMS.CRS2]が最終化されSG5へ送致されることとなったため、CRSに関する研究課題ITU-R 241-2/5を精査し、研究課題を廃止するか/修正するかを議論した。議論の中で、これまでWP5Aで作成された報告書ITU-R M.2225および報告書案ITU-R M.[LMS.CRS2]により、研究課題ITU-R 241-2/5の課題はほぼ網羅されたとの意見が出された。最終的には、本研究課題を廃止するか修正するかは次回WP5A会合で議論を継続することとなった。次回WP5A会合に向けて、本件に関する寄書入力を要請することとした。

3.5.2 ITSに関する検討

【入力文書】

5A/198 (Annex 20), 5A/543 (Annex 19), 5A/543 (Annex 20) (WP 5A), 5A/562 (ETSI), 5A/602, 5A/603 (韓国), 5A/615, 5A/619, 5A/620 (日本)

【出力文書】

5A/TEMP/264, 5A/TEMP/265, 5A/TEMP/266R1, 5A/TEMP/267R1

【参加者】

Bill McDonald, Dale Hughes (オーストラリア)、Hartmut Dunger, Bernd Wolf (ドイツ)、Han-Byoung Cho (韓国)、Andy Feltman (米国)、Fatih Yurdal (Robert BOSCH GmbH)、圓谷、小山、中川、山本、高山、辻、大村、大原、小川、櫻木、新保、村上、山崎、吉野 (日本)などの約計 25 名

【審議概要】

- ・車車間通信及び路車間通信に関する新勧告案ITU-R M.[V2X] 作業文書について日本と韓国からの入力文書が反映され、引き続き検討が継続されることとなった。
- ・高度ITS無線通信システムの報告ITU-R M.2228改訂に関する検討は、韓国からの入力文書が反映されたのちに暫定報告改訂案に格上げされ次回継続審議されることとなった。
- ・ITS利用状況の調査レポートに関する新報告案ITU-R M.[ITS USAGE]作業文書については、日本からの入力文書が反映され、引き続き検討が継続されることとなった。
- ・日本からの提案による列車との公衆移動通信システムに関する新報告ITU-R M.[RAIL LINK]

作業文書が出力され、引き続き検討が継続されることとなった。

3.5.2.1 車車間通信及び路車間通信に関する新勧告案 ITU-R M.[V2X] 作業文書に関する検討

【入力文書】

5A/543 Annex 19, 562 (ETSI), 602 (Korea), 619, (Japan)

【出力文書】

5A/TEMP/265

【審議概要】

- ・3件の寄与文書 (5A/562 (ETSI), 5A/602 (韓国), 5A/619, (日本))が紹介された。
- ・前回、IEEEに対し情報提供を依頼するリエゾン文書を送付したが回答が届いていない。これについて米国が次回会合にて情報入力する旨約束した。
- ・日本から今回会合でM.[V2X]の作業文書を暫定新勧告案 (PDN Rec.) にレベルアップする提案がなされた。
- ・これに対し、米国から次回会合でIEEEに関する情報を入力するので、今回は作業文書のまま持ち越してほしいとの要請があり、了解された。
- ・次回WP 5A会合にてM.[V2X]についての作業を完了させる現行作業計画を変更しないことが確認された。次回WP 5A会合で米国からの入力を反映して文書を完成させる。
- ・前回から持ち越された作業文書に3件の寄与文書をマージした文書が提示され、レビューが行われた。
- ・IEEEに対して本案件に関するリエゾン文書の回答を促すリマインダを送付してはどうかとの意見があったが、米国が次回IEEEについての情報を入力すると約束していることから、IEEEへの追加のリエゾン文書は出さないこととした。
- ・各標準規格の主要パラメータの一覧表 (Table 6) について韓国から送信電力及びPERを追加する提案があった。
- ・日本からは各標準規格で条件が異なるので一覧表の項目から送信電力及びPERを削除するよう提案したが、韓国、オーストラリアから項目として残し検討すべきとの意見が出されたことから、次回の提案を待つこととなった。
- ・送信電力についてARIBではアンテナ入力、ETSIではEIRPで規定されているが、これらを一行に表記する方向で検討することとした。
- ・PERについてITU-TではPacket Error Ratioが定義されているがITU-Rには定義がなくBERが使用されているとのコメントがあった。今回はPacket Error Ratioとし、次回の提案を待つ。
- ・韓国の周波数帯についてExperimentalと記載されており、日本から懸念が示された。今回は[Experimental]と記載し、次回までに対応を検討することとした。

以上を作業文書に反映し、持ち越された。

3.5.2.2 高度 ITS 無線通信システムの報告 M.2228 改訂に関する検討

【入力文書】

5A/198 Annex 20 , 603 (Korea)

【出力文書】

5A/TEMP/266R1

【審議概要】

- ・韓国からの寄与文書(5A/603) が紹介された。韓国の状況を記載する節に検討されているサービスを追記するもの。
- ・韓国からの寄与文書をマージした作業文書が提示されレビューが行われた。
- ・韓国での状況を説明する節において特定のサービスを実現する手段としてミリ波レーダーについての説明及び諸元が追記された。日本から本報告のスコープであるAdvanced ITS Radiocommunicationsに適さない内容であり、M.[ITS USAGE]に提案してはどうかと提案したが、あくまでもAdvanced ITSで実現するサービスを実現するための補完技術として記載しているとの説明がなされ、このまま残すこととした。

以上の議論のうえ、文書のステータスを暫定報告改訂案 (PDRev Report)に格上げすることが合意された。

3.5.2.3 ITS 利用状況の調査レポートに関する検討

【入力文書】

5A/543 Annex 20, 620 (Japan)

【出力文書】

5A/TEMP/267R1

【審議概要】

- ・日本からの寄与文書 (5A/620) を反映した作業文書が紹介され、そのまま持ち越された。この寄与文書にはAWG-17の審議結果が反映されている。

3.5.2.4 列車との公衆移動通信システムに関する新報告案 M.[RAIL.LINK]に関する検討

【入力文書】

5A/615 (日本)

【出力文書】

5A/TEMP/264

【審議概要】

- ・日本からの寄与文書 (5A/615) が紹介された。列車との無線通信に関する報告の作成を提案するもの。
- ・本提案は列車内の乗客が個別に使用する携帯電話ではなく、列車自体とインフラとの通信をスコープとしているとの説明がなされた。
- ・日本からの寄与文書をもとにした作業文書が提示されレビューが行われた。
- ・文書名については日本からの寄与文書では M.[TRAIN] とされていたが、M.[TRAIN-RADIO-LINK]とすべきとの意見が出されたが、最終的にM.[RAIL.LINK]とすることで合意された。
- ・周波数帯についての確認や、Ground stationとの記載についてFixed stationの方が良いのではないかとのコメントがあったが、今回はそのまま持ち越された。

作業文書の段階でWP5Dにコメントを求めるリエゾン文書を送付した方がよいとのコメントがあった。

3.5.2.5 79 GHz 帯自動車用高分解能レーダーに関する検討; WRC-15 議題 1.18

【入力文書】

5A/543 Annex 9

【出力文書】

なし

【審議概要】

- ・議題1.18に関する作業計画 (5A/543 Annex 9) が確認された。
- ・WP5Aで担当する議題1.18関連作業は、前回のWP5A会合で終了している。

3.5.3 WP1Bへのダイナミックアクセスに関するリエゾン

【入力文書】

5A/544 (WP 5B), 5A/553 (WP 1B), 5A/587 (米国), 5A/TEMP/263R1 (WG 5A-4)

【出力文書】

5A/TEMP/269R1 (WP1B へのリエゾン)

【出席者】

Jose Costa (カナダ), Chiristine Hsu (カナダ), Alessandro Trogolo (イタリア), Marja Matinmikko (フィンランド), Halina Uryga (フランス), Chiristine Di Lapi (米国), Amy L. Sanders (米国), Dante Ibarra (米国), Jayne Stancavage (米国), Ed Ehrlich (米国), Shawn

Taylor (米国), Jim Ragsdale (Ericsson), Bernd Wolf (ドイツ), Blue (Microsoft)、圓谷、樫木、新保、村上、吉野、山崎、小山、中川、山本、高山、辻、大村、大原、小川 (日本)などの約計 25 名

【審議概要】

- ・ WP1Bで作成中のダイナミックアクセスに関する報告案作業文書についてWP5Aの意見を求めるWP1Bのリエゾンを議論した。
- ・ まず、WP5Aの第1回プレナリーで、WP1Bのダイナミックアクセスに関する報告案作業文書の規制事項に関する部分は、WG5A-4(議長: Michael Krammer(ドイツ))で議論し、技術的事項をDG5A-5-3(議長:Christine Di Lapi(米国))で議論することとした。
- ・ DG5A-5-3でのダイナミックアクセスに関する主要な意見は下記の通りであった；
 - WP1Bで作成中のダイナミックアクセスに関する新報告案は、周波数管理技術に焦点を当てて作成すべきであり、無線通信規則(RR)で分配されていない周波数帯をダイナミックアクセスシステムが使用するというシナリオにWP5Aは懸念をもつこと、
 - 個別の詳細な周波数共用や両立性の議論はWP1Bの所掌外であること、
 - 「人命の安全に係わる無線通信業務や無線標定業務に分配された周波数帯はダイナミックアクセスで使用することができない」との新報告案への記述は、根拠となる周波数共用検討結果がないので不適切である。
- ・ 上記は、DG5A-5-3の技術的意見としてまとめられ、WP1Bへのリエゾン案が作成された。
- ・ さらに、WG5A-4で議論された規制事項に関するコメント(出力文書5A/TEMP/263R1)と、統合され、最終的なリエゾン案(出力文書5A/TEMP/269R1)が作成され合意された。

3.5.4 ITU-Rテキスト(勧告、報告書、研究課題、ハンドブックなど)の見直し

【審議概要】

- ・ WG5A-5に関係する既存勧告、報告書、研究課題、ハンドブックの見直しを行った。
- ・ ソフトウェア無線に関する研究課題ITU-R 230-3/5については、カナダより廃止とする提案が出された。ソフトウェア無線に関しては、すでに研究が終了し新たな研究課題がないことから、特段の反対なく研究課題の廃止で合意された。SG5へ削除提案をすることとなった。
- ・ コグニティブ無線に関する研究課題ITU-R 241-2/5について、今回完成した新報告案ITU-R M.[LMS.CRS]により、ほぼすべての課題が網羅されたとの意見が出された。次回2015年7月のWP5A会合において、本研究課題の廃止/改訂の議論を寄書ベースで行うことが確認された。
- ・ 勧告改定案ITU-R M.[5A/VOC] (陸上移動業務の語彙)については、コグニティブ無線に関しては主要な用語の定義がすでに反映されていることから、現時点では追加して定義すべき語彙はないとの結論となった。

4 今後の予定

WP5A の次回会合の各 WG の主な審議事項は以下のとおり。

【WG1（アマチュア）】

- (1) アマチュアおよびアマチュア衛星業務に関する課題の検討を行うこと。
- (2) アマチュアおよびアマチュア衛星業務に関する勧告および報告の更新について検討を行うこと。

【WG2（システムと標準）】

- (1) Local Coverage における運用指針に関する暫定新報告案へ向けた作業文書 M.[Local Coverage]を完成させ、SG5 会合に送付すること。
- (2) Local Coverage における運用に関する新勧告案作成の研究開始を合意し、着手すること。

【WG3（PPDR）】

- (1) PPDR の目的と要件に関する新報告案に向けた作業文書 M.[PPDR]作成作業、次回会合完了を目標に、を引き続き行う。

【WG4（干渉と共用）】

- (1) 新報告案に向けた作業文書 M.[RLAN MITIGATION] の作成作業を引き続き行うこと。
- (2) RLAN 共用検討技術情報のコンパイル文書の更新のための検討を行うこと。
- (3) 勧告 M.1652 の改訂または新勧告案の検討を行うこと。
- (4) WP1B の新報告案 SM.[DYNAMIC ACCESS]の作業のレビューを行うこと。

【WG5（新技術）】

- (1) 新勧告 ITU-R M.[V2X] 「車車間通信及び路車間通信」案を完成させること。
- (2) 報告 ITU-R M.2280 「高度 ITS 無線通信システムの」改訂案を完成させること。
- (3) 新報告 ITU-R M.[ITS USAGE] 「ITS 利用状況の調査」に関する作業文書の作成作業を引き続き行うこと。
- (4) 新報告 ITU-R M.[RAIL LINK] 「列車との公衆移動通信システム」に関する作業文書の作成作業を引き続き行うこと。
- (5) コグニティブ無線に関しては、勧告改定案 ITU-R M.[5A/VOC] (陸上移動業務の語彙)に追加すべき語彙がないかを寄与文書をベースに引き続き検討すること、
- (6) 陸上移動ハンドブック(LMH: Land Mobile Handbook)の第 4 巻 ITS の改訂を行うかを議論すること

5 次回会合のスケジュール

次回（第 15 回）WP5A 会合は、2015 年 7 月 6 日～16 日、ブカレスト（ルーマニア）にて開催される予定。

表2 日本入力文書の審議結果

担当WG	文書番号	概要	審議結果	出力文書
WG2	5A/613	6GHz帯以下における広帯域移動システムのローカルカバレッジ運用の新報告書案 ITU-R M.[LOCAL_COVERAGE]の提案。	日本および米国からの提案を基に暫定新報告書案(PDN Rep.)へ向けた作業文書を作成、議長報告に添付された。Work planが作成され、CGの設立とTerms of Referenceが合意された。	5A/TEMP/273Rev.1, 274
WG2	5A/614	6GHz帯以下における広帯域無線アクセスシステムのローカルカバレッジの運用手法及び運用要件の新勧告案作成の提案。	今会合では新報告書案 ITU-R M.[LOCAL_COVERAGE]の完成度を高める審議を優先することになり、本寄書は次会合に持ち越されることになった。Work planで新勧告案の審議開始については、次会合で判断されることが合意された。	なし
WG4	5A/617	ENGに関する国内の周波数割り当てに基づく共用検討パラメータ情報の更新と、IMTをENG利用する場合の要求条件の追記を提案。	日本の提案が反映され、SG5へ上程された。	5A/TEMP/255R1
WG5	5A/615	列車との公衆移動通信システムに関する新報告案M.[RAIL LINK]の新規提案。	日本からの提案が反映され、作業文書が出力された。次回WP5Aで継続審議の予定。	5A/TEMP/264
WG5	5A/618	コグニティブ無線に関する新報告案の第7.1章 High Level Characteristicsと、第8.1章へのmetricに関する明確化の提案。	第7.1章へのコグニティブ無線のCharacteristicsの骨子については支持を受け、そのままテキストに反映された。第8.1章へのmetricについて明確化するテキストは修正の後、新報告案に反映された。エディトリアル修正を経て、新報告書案は最終化され、SG5へ上程された。	5A/TEMP/270R1
WG5	5A/619	車車間通信及び路車間通信に関する暫定勧告案 ITU-R M.[V2X] 作業文書へのエディトリアルな修正提案。	日本からの提案が反映された改訂作業文書が出力された。次回WP5Aで最終審議の予定。	5A/TEMP/265
WG5	5A/620	ITS利用状況の調査報告ITU-R M.[ITS USAGE]作業文書への全体構成に関するテキストの追加提案。	日本からの提案が反映された作業文書が出力された。次回WP5Aで継続審議の予定。	5A/TEMP/267R1

表 3 WP5A 入力文書

Working Party 5A (Chairman: José Costa, Canada; Office: T077; Ext.: 5517)	
Reports	543 (Chairman, WP 5A); 608 (L.R. #1); 630 (Disaster Relief L.R.); 632 (L.R. #3); 633 (WWRF L.R.)
General	79 Annex 25 (WP 5A); 566 (CCV); 569R1 (Chairman, SG 5); 580 (IMO); 594 (Canada); 616 (ETSI); 628 (WP 5D); 631 (List of Documents)
Working Group 1: Amateur Services (Chairman: Dale Hughes, Australia)	
COMPAT Report	543 Annex 10 (WP 5A); 579 (Russian Federation); 592 (Canada); 599 (China); 611 (USA); 622 (IARU)
Amateur texts Guide	623 (IARU)
Morse code	551 (WP 1C)
(AI 7; AI 9.1.8) & other	See also AI 1.12 & AI 1.18 below
Working Group 2: Systems and standards (Chairman: Lang Baozhen, China)	
Broadband Wireless Access	538, 539 (WP 5C); 568 (MEF); 626, 629 (WP 5D)
Local coverage aspects	543 Annex 12 (WP 5A); 570 (CG on Rep. Local Coverage); 588
Hearing aids and related	532R1 (JCA-AHF). 543 Annex 11 (WP 5A); 561R1 (WP 5D); 565 (ITU-T SG 16); 578 (EHIMA); 598 (China)
Rec. M.1450	586 (Ukraine)
Out-of-band emissions	552 (WP 1A)
Support to WG 4 on RLANs	See AI 1.1 below
AI 9.1.6 (Def. Res. 957)	
Working Group 3: PPDR (Chairman: Amy Sanders, USA)	
PPDR General	533, 550 (ITU-T SG 2 FG-DR&NRR); 560 (WP 5D); 575 (APT); 606 (UAE)
Draft new Rep. ITU-R M.[PPDR] & Supp. of M.2033	543 Annex 15 (WP 5A); 572 (CG on Rep. M.[PPDR]); 581 (Australia); 585 (Motorola Solutions); 589 (Canada); 597, 600 (China); 604 (Korea)
Update of Rec. ITU-R M.2009	543 Annex 13 (WP 5A); 590 (Canada); 596 (China); 627 (WP 5D)
Update of Rec. ITU-R M.2015	543 Annex 14 (WP 5A); 574 (Israel); 591 (Canada); 601 (China); 605 (Motorola Solutions); 610 (Vietnam)
Working Group 4: Interference and sharing (Chairman: Michael Kraemer, Germany)	
Sharing studies (general)	547 (WP 5B); 554, 555, 556 (WP 1A); 577 (CG-Handbook); 582, 584 (WP 7B)
Dynamic Access – sharing	534 (WP 5C); 544 (WP 5B); 553 (WP 1B); 587 (USA) (to support WG 5 on sharing & coexistence)
Update of Rec. ITU-R M.1824	543 Annex 17 (WP 5A); 593 (Canada); 617 (Japan)
ITU-T interference	545 (WP 5B); 548, 549 (ITU-T SG 9); 557, 558, 559 (WP 1A); 567 (ITU-T WP 2/5); 573, 576 (ITU-T SG 9)
AI 1.1 (Res. 233)	543 Annex 18 (WP 5A); 546 (WP 5B); 595 (Canada); 609 (France); 612 (USA); 621 (ESA)
AI 1.2 (Res. 232)	
AI 1.5 (UAS Res. 153)	
AI 1.6 (FSS Res. 151, 152)	543 Annex 16 (WP 5A); 571 (WP 4A); 624 (USA)
(AI 1.7) (FSS in ~5100 MHz)	
AI 1.8 (ESV Res. 909)	
AI 1.9.1, 1.9.2 (FSS Res. 758)	535, 536 (WP 5C); 563 (WP 4C)
AI 1.10 (MSS Res. 234)	537 (WP 5C); 564 (WP 4C)
AI 1.11 (EESS Res. 650)	
AI 1.12 (EESS Res. 651)	
AI 1.13 (SRS Res. 652)	
AI 1.15 (MMS Res. 358)	
AI 1.16 (AIS Res. 360)	
AI 1.17 (WAIC Res. 423)	
AI 9.1.x (MSS Res. 205)	583 (WP 7B)
Working Group 5: New technologies (Chairman: Hitoshi Yoshino, Japan)	
CRS Report	543 Annex 21 (WP 5A); 607 (Nokia Solutions and Networks Oy); 618 (Japan); 625 (Orange, Telecom Italia)
Dynamic Access – technol.	534 (WP 5C); 544 (WP 5B); 553 (WP 1B); 587 (USA) (WG 5 to lead the liaison responses)
ITS	198 Annex 20, 543 Annex 19, 543 Annex 20 (WP 5A); 562 (ETSI); 602, 603 (Korea); 615, 619, 620 (Japan)
AI 1.18 (Res. 654)	

表4 WP5A 出力文書

文書番号 (5A/TEMP/)	担当 WG	題 目	処理
254R1	WG4	Draft new Recommendation ITU-R M.[MS 14.5-15.35 GHz] – Characteristics of and protection criteria for systems operating in the mobile service in the frequency range 14.5-15.35 GHz	SG5へ上程
255R1	WG4	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1824 – System characteristics of television outside broadcast, electronic new gathering and electronic field production in the mobile service for use in sharing studies	SG5へ上程
256R1	WG1	Draft new Report ITU-R M.[5MHZ COMPAT] – Sharing and compatibility analysis of possible amateur service stations with fixed, land mobile, and radiolocation services in the frequency band 5 250-5 450 kHz and the aeronautical mobile service in an adjacent band	SG5へ上程
257	WG2	Working Party 5A and Working Party 5D – Draft reply liaison statement to Joint Coordination activity on accessibility and human factors (JCA-AHF)	JCA-AHFへ送付
258	WG2	Liaison statement to ITU-R Working Party 5C – Preliminary draft new Report ITU-R F.[FS USE-TRENDS] – Fixed service use and future trends	WP5Cへ送付
259R1	WG2	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1076 – Wireless communication systems for persons with impaired hearing	SG5へ上程
260	WG1	Liaison statement to Working Parties 5B and 5C (copy for information to Working Party 3L) – WRC-15 agenda item 1.4 – Status of studies for WRC-15 agenda item 1.4	WP5B, 5C, 3Lへ送付
261	WG4	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[RLAN MITIGATION] – Possible additional mitigation techniques to facilitate sharing between RLAN systems and incumbent services	議長報告Annex 8に添付
262	WG4	Compilation of technical information on techniques that could be used in RLAN deployments to facilitate sharing	議長報告Annex 9に添付
263R1	WG4	Elements for a reply liaison statement to WP 1B on Report ITU R SM.[DYNAMIC ACCESS] (TO BE INSERTED INTO THE OVERALL REPLY LS DEVELOPED BY WG 5A-5)	WG5へ送付し269R1と統合
264	WG5	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[RAIL.LINK] – Systems for public mobile communications with train	議長報告Annex 13に添付
265	WG5	Working document toward a preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[V2X] – Radio interface standards of vehicle-to-vehicle and vehicle-to-infrastructure communications for intelligent transport systems applications	議長報告Annex 11に添付
266R1	WG5	Preliminary draft revision of Report ITU-R M.2228 – Advanced intelligent transport systems (ITS) radiocommunications	議長報告Annex 10に添付
267R1	WG5	Working document toward a preliminary new Report ITU-R M.[ITS USAGE] – Intelligent transport systems usage Report in ITU Member countries	議長報告Annex 12に添付

268R1	WG3	Draft revision of Recommendation ITU-R M.2009 – Radio interface standards for use by public protection and disaster relief operations in some parts of the UHF band in accordance with Resolution 646 (Rev.WRC-12)	SG5へ上程
269R1	WG5	Liaison statement to Working Party 1B on development of a draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] (copy for information to WP 5B, 5C, 5D) – Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	WP1Bへ送付
270R1	WG1	Draft new Report ITU-R M.[LMS.CRS2] – Cognitive radio systems (CRSs) in the land mobile service	SG5へ上程
271R1	WP3	Draft revision of Recommendation ITU-R M.2015 – Frequency arrangements for public protection and disaster relief radiocommunication systems in UHF bands in accordance with Resolution 646 (Rev.WRC-12)	SG5へ上程
272R1	WG2	Liaison statement to Working Party 1A (copy to Working Parties 1B, 1C, 4A, 4C, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D) – Characteristics of the unwanted emissions in the out-of-band and spurious domains for digital modulation technology used in broadband communication systems	WP1Aへ送付
273R1	WG2	Workplan for further studies on local coverage issues	議長報告Annex 3に添付
274	WG2	Working document towards a draft new Report ITU-R M.[LOCAL_COVERAGE] – Operational guidelines for the deployment of broadband wireless access systems for local coverage operating below 6 GHz	議長報告Annex 5に添付
275	WG5	Liaison statement to the Coordination Committee for Vocabulary (CCV) on updating the integrated database of ITU terms and definitions	CCV (ITU-R) へ送付
276R1	WG3	Liaison statement to Working Party 5D – Working document toward a preliminary draft new Report ITU-R M.[PPDR] "Public protection and disaster relief communications"	WP5Dへ送付
277	WG5	Preliminary draft revisions of the Questions assigned to Working Party 5A (Annex 4 to Working Party 5A Chairman's Report)	SG5へ上程
278R1	WG3	Preliminary draft new Report ITU-R M.[PPDR] – "Public protection and disaster relief communications"	議長報告Annex 6に添付
279	WG1	Guide to the use of ITU-R texts relating to the amateur and amateur-satellite services	WP5A ウェブサイトに掲載
280	WG1	Elements of Working Party 5A Chairman's Report	議長報告Annex 3に添付
281	WG1	Work plan for Working Group 5A-1	議長報告Annex 3に添付
282	WG3	Elements for consideration in future discussions on Recommendation ITU-R M.2015	議長報告Annex 7に添付
283	WP5A	Annex 1 to Working Party 5A Chairman's Report	議長報告Annex 1に添付
284	WG2	Report on Activities on Working Group 5A-2 – Systems and standards – Annex 3 to Working Party 5A Chairman's Report	議長報告Annex 3に添付

285	WG5	Meeting Report of Working Group 5A-5 – New technologies	議長報告Annex 3 に添付
286	WG3	Meeting Report for Working Group 3 – Public protection and disaster relief	議長報告Annex 3 に添付
287	WG4	Report of the Working Group 5A-4 activities (Interference and shading)	議長報告Annex 3 に添付

ITU-R SG5 WP5A 第14回会合 日本代表团

	氏名	所属
団長	圓谷 茉里	総務省総合通信基盤局 電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室 システム開発係
	今田 諭志	(株) KDDI研究所 開発センター
	大槻 信也	NTTアクセスサービスシステム研究所 研究主任
	大原 晃	KDDI (株)
	小川 博世	(一社) 電波産業会 研究開発本部 次長
	大村 好則	(一社) 電波産業会 研究開発本部移動通信グループ 担当部長
	小山 敏	(一社) 電波産業会 研究開発本部 ITSグループ 主任研究員
	榎木 勘四郎	(株) KDDI (株) 技術統括本部 KDDI研究所 コグニティブ無線グループ
	神原 浩平	NHK技術局 計画部
	久代 雄一郎	NHK技術局 計画部 副部長
	酒井原 邦彦	パナソニック株式会社 AVCネットワークス社 技術本部 AVC技術開発センター
	新保 宏之	(株) 国際電気通信基礎技術研究所
	高山 泰一	(株) 三菱総合研究所 科学・安全政策研究本部 科学技術グループ 研究員
	辻 宏之	(国研) 情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク研究所 宇宙通信システム研究室 主任研究員
	中川 洋一	パナソニック システムネットワークス (株) インフラシステム事業部 交通環境システム部 主幹技師
	橋本 明	(株) NTTドコモ 無線標準化推進室長
	村上 誉	(国研) 情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク研究所 スマートワイヤレス研究室 主任研究員
	山崎 高日子	三菱電機 (株) 通信システム事業本部 通信システムエンジニアリングセンター 戦略事業推進グループ 専任
	山本 勝美	(一社) 日本アマチュア無線連盟 会員部国際課長
	山本 武志	(一社) 電波産業会
	吉野 仁	ソフトバンクモバイル (株) 研究本部 担当部長